

■ ■ 日本コンクリート工学会賞(技術賞)を受賞 ■ ■

6月16日に、公益社団法人 日本コンクリート工学会論文賞授賞式において、シラス研究開発室の袖山研一室長が2021年日本コンクリート工学会賞(技術賞)を受賞しました。

コンクリート工学年次論文集において、論文「火山ガラス微粉末利用による環境負荷低減効果に関する研究」や「火山ガラス微粉末を用いたコンクリートの鉄筋腐食因子の侵入抵抗性に関する考察」等、計7つの論文について掲載してきました。共著者は、東京大学大学院の友寄篤助教と野口貴文教授です。

本賞は、2021年にコンクリート工学年次文集中に掲載された研究者の中から、学術的・実用的な価値が高く、かつ独創的・先進的研究と認められコンクリート工学の向上に貢献している研究者を選考し、論文賞が授与されています。



■ ■ 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーで成果を発表 ■ ■

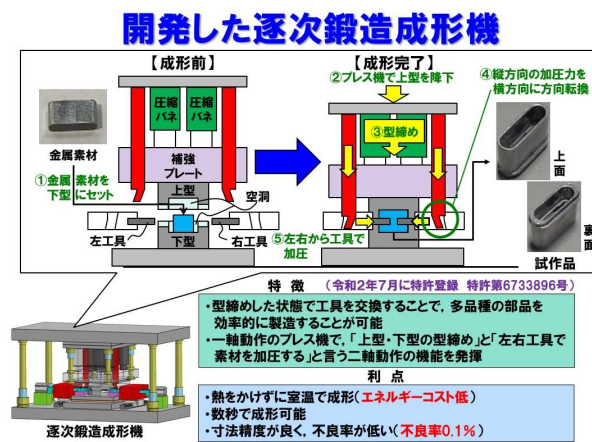
10月7日に、国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター(佐賀県)において、九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデーがオンラインで開催され、431名の参加がありました。

九州・沖縄各県公設試による合同成果発表会では、新製品開発に成功した企業と公設試・産総研の研究者が、製品化プロセス、成功のポイント等を発表しました。

当センターからは、生産技術部 牟禮部長が、株式会社東郷 東常務取締役とともに「逐次鍛造法を用いた防水性USB Type-Cコネクタ成形技術の開発」のテーマで口頭発表及びポスター発表を行いました。

また、以下2件のポスター発表を行い、担当研究員がオンライン参加者に対して研究紹介を行いました。

- (1) 鹿児島県産シラスを原料とした軽石状ゼオライト複合体
- (2) 薩摩焼の防水保護膜の形成



■ ■セルロースナノファイバー(CNF)活用促進セミナーに出展 ■ ■

10月13日から15日までマリンメッセ福岡においてモノづくりフェア2021が開催されました。

九州最大級の産業見本市で、13, 147人の来場がありました。

同時開催された、CNF活用促進セミナーでは、食品・化学部の東主任研究員が、CNF活用の取組事例として①CNFの繊維加工への利用、②CNFとシラス材料との複合体、③火山噴出物によるCNFシートへのコーティングについて発表を行いました。

来場者から、CNFの素材としての可能性や優位性について質問があり、様々な分野へと活用の幅を広げている材料として関心度の高さが伺えました。



■ ■第32回 薩摩焼フェスタに出展 ■ ■

12月1日から5日までかごしま県民交流センターにおいて、第32回薩摩焼フェスタが開催され、当センターと県内窯元の有志で運営している薩摩焼型板研究会が出展しました。

同研究会は、当センターが開発した薩摩焼用のレーザ加工型板(以下、型板)を用いて、新しいデザインの薩摩焼の商品開発を目指した研究会です。

出展したブースでは、これまで開発された型板を使って各窯元でつくられた作品を「わたしの逸品展」として展示しました。

ブースを訪れた来場者は、細かい柄の再現や花器や平皿など多彩な作品に興味を持たれ、好評を得ていました。



■ ■3Dプリンタ高度利活用研究会を開催 ■ ■

工業技術センターでは、各企業の所有するプリンタのより高度な利用方法に関して会員間で情報を共有し、県内の3Dプリンタ関連産業をより振興させ、県内製造業の底上げを図ることを目的とし、3Dプリンタ高度利活用研究会活動を行っています。

コロナ禍の中、しばらくオンライン開催が続いていましたが、12月17日、当センターで対面での研究会を開催しました。

セミナー、企業事例紹介に加え、実際の造形物を手に取ったり、立体スキャナの実動状況などを直接見ていただきました。

研究会の会員は随時募集しています。ご希望の方は、企画支援部までお問い合わせください。

